

元気企業
訪問

株式会社
エイティロジテック

先々を見据えた 設備投資で 食品包装業界の 先頭をひた走る

設備投資こそ最大の戦略

同社では新たに導入した包装機の稼働が今まさに始まろうとしています。菓子メーカー向けにキャンディーを名刺サイズ大のパッケージに包装する専用機で、1日に数万個単位で生産できます。「コンビニやスーパーなどに並ぶ新製品の動向を見ていると、食品包装で求められているニーズが手に取るように分かります」と阿曾師郎社長。「名刺サイズ大の包装機のニーズはいずれ拡大する」と予測し、同様の包装機をすでに3年前から導入して受注拡大の機会をうかがっていました。

「リスクはありますが、大量に発注が来てから機械を準備するのではチャンスを逃します。エイティロジテックだったら流行の包装にすぐに対応してくれるという評判を立て、受注を呼び込むのが当社の戦略です」

計量器、包装機をはじめとする設備投資は5年で3億円程度を目安に行っていますが、以前は民間リース会社からのリース契約で導入していました。3年前に、ひょうご産業活性化センターの設備貸与制度を知ってからは年間3、4台の新規設備投資に全て同制度を活用しています。「まず金利が安い。そして割賦支払いの完済後は設備が

当社所有になるため、リースのような再リース料の負担が無いことも大きいのです」とメリットを語ります。

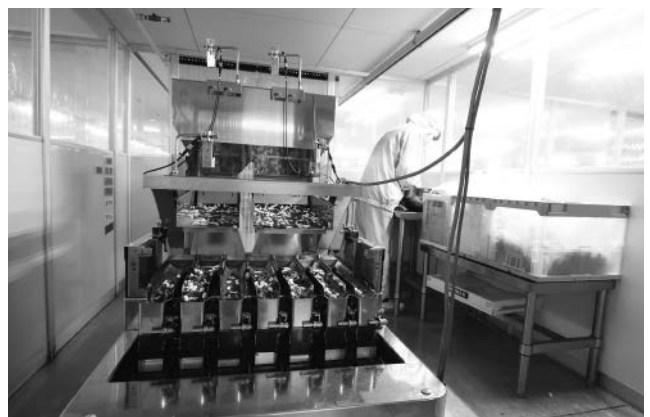
年間通して安定受注を確保

もともと左官工として建設現場で働いていたという経歴を持つ阿曾社長。たまたま知人からチョコレートの包装加工の仕事を依頼されたことがきっかけとなり、38歳の時にこの業界へ。チョコレートは季節商品で仕事の量の変動が激しくパート従業員の定着が難しかったため、思い切って設備を購入し、年間を通して安定的に操業できるよう受注を確保してきました。その結果、現在ではチョコレートなどの「菓子事業部」、カレーやスパイスなどの「スパイス事業部」、ナッツ類などの「乾物事業部」の3事業部体制を敷くまでに成長しました。「スパイスは匂いがきついため同業他社がやりたがらない領域ですが、実は年間を通してほとんど消費量の変化のない安定商品

なのです」と阿曾社長。「コンスタントに受注があるので、仕事が欲しいから残業をしても受注を取るというような無理なことをせずに済みます。それが従業員の定着にもつながっています」

衛生管理でも常に先を行く

食品メーカーの多くは最終工程である包装業務を外部に委託しており、「人手不足により外部委託の流れはますます強まる」と見通しています。ただ、異物混入など万一のことがあれば企業の存続を揺るがしかねず、徹底した衛生管理が求められています。この面においても同社の取り組みは早く、6年前から工場内に360度見渡せるカメラを20台配置しいつでもスマートフォンから見れる仕組みを整えました。



設備貸与制度で導入した包装機

3年前には食品安全システム認証FSSC 22000も取得。こうした取り組みがさらなる受注の獲得につながっています。

「昨年栄栗市に新設した工場の隣接地に、5年後、新工場を整備する予定」と阿曾社長。新工場には取引先のメーカーの製品在庫スペース確保

の要請に応え、メーカーが出荷したい時に出荷できる体制も整える予定で、常にニーズを先取りしながら前進を続けています。

会社概要
株式会社エイテイロジテック

所在地 加西市常吉町字東畑922-194
代表取締役社長 阿曾師郎
事業内容 食品包装業

TEL 0790-47-1516
URL <https://at-logitec.co.jp/>

支援メニュー講座

設備貸与制度

設備貸与制度の活用で経営基盤を強化

制度概要

設備の増強・更新を図ろうとする中小企業の方に代わってセンターが設備を購入し、中小企業の方に長期（10年以内）かつ固定金利（年率0.70%～1.95%）で割賦販売またはリースするものです。昨年度から10%の保証金が原則不要となりました。

メリット

最大のメリットは、金融機関の借り入れ枠や信用保証協会の保証枠とは別枠で利用できることです。また、設備貸与制度のみならず当センターは、曜日ごとに中小企業診断士等の専門家による無料の窓口相談を随時受け付けています。さらに当センターは中小企業支援機関との連携により県内企業を支援する「中小企業支援ネットひょうご」を活用し、経営・技術・情報などさまざまなサポート体制が構築されていますので、制度利用後のフォローアップを含めた手厚いサポートがあるのも特長です。

設備の更新、新規導入、省エネへの取り組みをご検討されている方はぜひ設備貸与制度の利用をご検討ください。

問い合わせは ひょうご産業活性化センター設備投資支援室 TEL 078-977-9086